

令和6年度 第1回学校運営協議会 報告

1 目的

今年度の学校経営計画に基づいた指導成果指標、各分掌の重点目標や各種取組内容等の計画について協議する。また委員の方々から本校の学校運営に関する御意見等を頂戴し、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進するとともに学校活性化のための方策について共に考え、本校教育の充実・発展に寄与する。

2 日時

令和6年5月31日（金）13:30～15:10

3 場所

本校中会議室

4 出席者

委員	高橋	剛	様	(北上市商工部長)
委員	佐藤	満義	様	(北上工業クラブ会長)
委員	八重樫	博之	様	(岩手県建設業協会北上支部長)
委員	菅原	浩一	様	(北上地区電気工事業協同組合理事長)
委員	菊池	良弥	様	(北上市立上野中学校長)
委員	菅原	純	様	(北上市立二子小学校長)
委員	後藤	則夫	様	(本校同窓会長)
委員	斎藤	芳里	様	(二子町振興協議会専務)

- ・高橋 剛 委員 (北上市商工部長) は所用により欠席
小山 真一 様 (北上市商工部産業雇用支援課長) が代理出席されました。
- ・小原 加奈枝 委員 (本校PTA会長) は所用により欠席されました。

【本校職員】

校長	村上	智芳
副校長	植木	淳
副校長	尾形	祐一
事務長	佐藤	秀司
総務主任	阿部	正孝

5 次第及び内容（要旨）

- (1) 開会
- (2) 委員の委嘱（辞令交付）
- (3) 学校長挨拶
- (4) 自己紹介
- (5) 協議

1) 役員を選出

「岩手県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第5条により本協議会の会長及び副会長を選出。

会長には 齋藤芳里 委員が、
副会長には 佐藤満義 委員が選出された。

2) 令和6年度学校経営計画【校長】

原案のとおり承認された。

【委員D】

今年度の重点目標の達成指標として「『学校はいじめの防止に積極的に取り組んでいる』と回答する生徒の割合を80%」としているがもっと高値でも良いのではないか。

【委員A】

昨年度に肯定的な回答をした生徒の割合はどれくらいか。

【校長】

昨年度に肯定的な回答をした生徒は93%であった。この御意見をもとに再検討してみたい。

【委員G】

いじめ行為とはどのようなものか。

【校長】

現在のいじめ行為はネットやSNS等への投稿から発するものがほとんどである。校外で起こっている事象が非常に多く把握しにくい。

【委員A】

不登校生徒はどれくらいか。

【校長】

小、中学校時に不登校を経験した生徒は若干名入学している。中学校等と連携を取り対応している。1年時は落ち着かない生徒も見られるが、2年時になると高校生活にも慣れ落ち着いた生活ができている。

(6) 報告

1) 令和6年度学校概況【副校長】

- ・在籍者数
- ・通学方法及び通学状況
- ・出身中学校及び出身中学校別在籍者数（全日制）、出身地域別在籍割合
- ・部活動加入者数

2) 教育活動の現状と課題【副校長】

・総務、教務、生徒指導、厚生、教育支援相談及び専攻科より昨年度の取組実績と今年度の取組計画の内容等

【委員B】

教務部資料にあるICT活用について、有効活用を図ってもらいたい。双方向授業の形成に有効と考える。ぜひ推進してほしい。

【委員A】

PCを個人購入するという話があったが高価なものと思う。県等で準備するようなことはないのか。

【副校長】

今までは県で準備していたものを使用してきたが、経年劣化や保証の問題が発生している。ICT機器の活用により「学びを止めない」体制の維持が可能となった。今後も有効に活用するために教職員間で研修を深めたい。

【委員A】

自転車乗車時に事故にあった場合の対応（補償）はどのようになっているのか。

【総務主任、副校長】

全国高P連の保険に加入していれば加害になった場合でも補償される。登下校時の事故（怪我等）は日本スポーツ振興センター災害給付対象となる。

【委員H】

3年生の進路決定後の学力向上指導をお願いしたい。

【副校長】

担当と協議したい。御意見に感謝する。

3) 令和7年度県立高等学校入学者選抜概要及び「いわて留学」（県外募集）の実施【校長】

【委員B】

趣旨は理解する、賛成したい。

本地区の生徒数増加の方策をどのように考えるか。小学3～4年生時に工作等でのづくりの楽しさを体験させたい。この体験から工業へ興味・関心を抱かせ、高校選定の材料にさせることが大切と考える。

【副校長】

今年度も小、中学校へ「出前授業」を実施予定である。小学生は「ものづくり」「エネルギー」への関心は高い。今年度は本校へ小学生を招き、学習できる機会を設定しようと準備中である（今夏開催予定）。

【委員F】

昨年度は小学校で出前授業を開講した。児童たちは楽しそうな表情で受講していた。実施に感謝したい。また今年度も有意義な体験を児童に与えたいので是非お願いしたい。

(7) 委員の皆様から（提言、指導・助言等）

【委員A】

北上市の人口減は小幅であるが、人口減は生徒数減につながる問題と考える。生徒確保の方策として「いわて留学」について支持したい。

【委員B】

北上市内には大手企業工場が複数誘致され、大型な雇用が行われているが、地元の中小企業を知る機会を持ってもらいたい。

【委員C】

本校学校経営計画は学校諸問題にも適切に対応しているものであると考える。今後も本会委員の立場だけでなく、相談等に対応していきたい。

【委員D】

「いわて留学」による生徒数増加に期待したい。

生徒の安全のために自転車乗車時のヘルメット着用を推進させてほしい。

【委員E】

来年度の高校入試より実施内容が大きく変更される。中学生へ目的意識を醸成し、新入試へ対応していきたい。

【委員F】

登下校時の生徒の挨拶が心地良い。所作も素晴らしく感心する。
昨今の子供数減少の中、本校生徒数は増加した。すごいと考える。

【委員G】

学校存続のためのインパクトが必要と考える。外部へ本校の良さを発信し、興味を持ってもらえるように努力してほしい。

【委員H】

学校周辺の交通量が増加している（新規企業の本格稼働による）。自転車乗車時のヘルメットの着用指導を強くお願いしたい。

本校の地域貢献活動を積極的にアピールしてはどうか。生徒の活動成果をもっとメディアリリースしてもよいと考える。

(8) その他

【校長】

「いわて留学」について学校ホームページや「note」等で外部へ公開し、生徒募集の有用としたい。

自転車乗車時のヘルメット着用の御意見を頂戴した。今後関係職員と協議する。

(9) 閉会